

平成26年度事業報告について

【共通事業】

1. 総会

(1) 日 時 平成26年4月21日(月) 14:00~16:00

(2) 会 場 アオッサ6階 601BC研修室

(3) 結 果

①基調講演【聴講者 51名】

- ・演題 「地球温暖化と異常気象」(講師:福井地方気象台防災G調査官 原与志治氏)

②総会【出席者 56名(うち17名は議長委任による出席)】

- ・平成25年度事業報告及び収支決算報告について 承認
- ・平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 承認

2. 福井市環境フェア

(1) 概 要 「環境にやさしい持続可能なまち」をテーマに57の団体や企業、大学が出展し、再生可能エネルギーの普及、一般廃棄物の削減、足羽三山の保全と利活用などについて分かりやすく紹介し、市民の環境意識の向上を図った。

(2) 日 時 平成26年10月11日(土)~13日(月・祝)

*予定していた13日の開催は、台風19号の影響で中止

(3) 会 場 福井新聞社(11日のみ)、FBC本社前イベント広場(福井市大和田2丁目)

(4) 協 賛 江守商事(株)、(株)田中化学研究所、轟産業(株)、日華化学(株)
福井環境事業(株)、フクビ化学工業(株)、(株)法美社、(株)増田喜
(株)マルツ電波、村中建設(株)

(5) 内 容【同時開催/第13回大和田げんき祭り】

【福井新聞社会場】

- ・福井市地域環境保全功労者表彰(個人3、団体5)・工作教室(ネイチャークラフトなど)
- ・企画展「守り伝えたい福井の里地 里山」 ・まだまだ使えます!抽選会
- ・省エネセミナー「家庭で進める省エネ対策」 ・不要になった小型家電の無料回収
- ・親子工作教室「牛乳パックボールをつくろう」
- ・パネル展示等による市民組織、事業者及び行政の取組(活動)紹介
- ・環境ビジネス展示会 ・ビジネス講演会(講師:HSK 東京コンサルティング保坂武文氏)



【オープニング】



【省エネセミナー】

【福井市地域環境保全功労者表彰式】

【FBC 本社前イベント広場】

- ・ジビエ料理のふるまい
- ・環境保全普及啓発展示
- ・環境配慮商品の販売/紹介



【団体・企業出展ブース】



【ジビエ料理のふるまい】

3. 第1回理事会の開催

- (1) 日 時 平成26年10月30日(木) 14:00~16:00
- (2) 会 場 アオッサ6階 602 研修室
- (3) 結 果【出席者 18名(うち6名は議長委任による出席)】
 - ・平成26年度事業中間報告について 承認
 - ・平成27年度事業計画(案)について 承認

4. 第2回理事会の開催

- (1) 日 時 平成27年2月26日(木) 15:00~
- (2) 会 場 福井県国際交流会館第1会議室
- (3) 結 果【出席者 18名(うち3名は議長委任による出席)】
 - ・平成26年度事業報告及び収支決算(見込)についてについて 承認
 - ・「環境活動普及・推進部会」の設置について 承認
 - ・平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 承認
 - ・平成27年度理事会について 承認

【自然創造部会】

豊かな自然を将来に伝えていくために、地域や関係団体と連携して自然保護・再生活動に取り組む。また、地域の優れた自然環境を市民に紹介するとともに、地域の自然保護活動等を支援する。

部会員(五十音順、敬称略)

氏 名	所 属
浅利 裕美	福井市環境パートナーシップ会議
天谷 堅司	サカイオーボックス株式会社
草桶 秀夫	学校法人金井学園福井工業大学
酒井 大祐	福井ライオンズクラブ
重森 正雄	安居の里を守る会
白澤 照久	日本ビオトープ管理士会福井県支部
瀬戸 靖夫	日本野鳥の会福井県
多田 憲市	NPO法人農と地域のふれあいネットワーク
前川 征	公益社団法人福井青年会議所
山下 征夫	福井県ホテルの会
吉川 守秋	NPO法人エコプランふくい

1. 部会の開催状況

5/29 (木) 第1回部会	「優れた自然環境の調査」及び「足羽三山の自然環境調査」の実施方法について協議。また、里地里山先進地視察の内容及びパンフレット「守り伝えたい福井市の優れた自然」の増刷についても協議した。
7/2日 (水) 第2回部会	中池見湿地（敦賀市）において、「福井県里山里湖海研究所」より、自然資源を活用した教育及び地域活性化の事例紹介、研究所の取組内容の説明を受けた。また、現地を市からの委託を受け管理している「NPO 法人中池見ねっと」より、市民と連携した自然管理の方法や課題について説明を受けた。
12/3日 (木) 第3回部会	今年度の事業の進捗状況を確認し、来年度の事業の内容について協議した。特に、パンフレット掲載地と連携し、「地域の環境保全と地域づくりの両立」に繋がる事業の実施について協議した。
2/17日 (火) 第4回部会	上味見（美山地区）を訪問し、「NPO 法人自然体験共学センター」より、現地での自然体験活動事業の説明を、また「一般社団法人伊自良の里振興協会」より、地域の現状やまちづくり事業の説明を受けた。更に次年度の「地域の環境保全と地域づくりの両立」のための事業内容（上味見地区）について協議した。

2. 事業の実施状況

(1) 優れた自然環境の調査

概要 パンフレット「守り伝えたい福井市の優れた自然」の掲載地を訪問し、市民に親しんでもらうため、また後世に残していくための課題を探り、解決策を検討する。

【先進地視察】

- ・7/2 (水) 里地里山保全先進地視察として、中池見湿地を訪問し、市民との連携や管理方法について学んだ。

【掲載地訪問① 下市山（東安居地区）/安居地区】

- ・11/15 (土) 地元で活動する「菜の花公夢典ひがしあご」及び「安居の里を守る会」から活動の経緯や整備活動の内容、今後の展望について説明を受けた。

【掲載地訪問② 上味見地区】

- ・2/17 (火) 次年度の事業に向けて、地元の方から現在の地域の活動について説明を受け、今後の活動内容を検討した。

(2) 足羽三山の自然保護・再生事業

概要 足羽三山は市中心部に残された貴重な自然であるが、十分に管理されない竹林が周辺の常緑樹林や広葉樹林へ侵入し、樹木の成長を阻害するなど、生態系への影響が心配されている。足羽三山の自然環境を後世に残していくため、足羽三山に関わる市民や団体と里山としての保全と利活用の手法を検討し、それを踏まえた事業を実施する。

【竹林整備】

- ・4/29 (火) 春の竹林整備（足羽山）：若竹の伐採（たけのこ/約 100 本）
- ・10/4 (土) 秋の竹林整備の実施（足羽山及び八幡山）：竹の伐採（約 160 本）

【足羽三山の自然環境調査】

○足羽山のギフチョウの保全

概要 足羽山のギフチョウ（市天然記念物）を中心とする生態系の保護を図る。

- ・5/15（水） ギフチョウの産卵場所であるカンアオイの保全を目的に、生育状況について調査した。ただし、産卵の有無を条件にして生育状況を比較する予定であったが、産卵場所を発見できなかった。（調査地：ドングリの道）

○竹林整備地の植生調査

概要 「足羽三山の SATOYAMA を守る会」が整備している竹林の植生を調査し、その成果を確認する。

- ・6/13（金）整備地周辺の調査（足羽山及び八幡山）：植生調査の観測地の選定
- ・9/26（金）竹林整備地及び未整備地の植生調査（足羽山）：整備前の現状調査



【整備地】



【未整備地】

* 9月に整備地及び未整備において植生調査を実施し竹林整備の効果を検証したが、植物の種類については、現時点では明確な差はなかった。

（3）福井市環境フェア 企画展「守り伝えたい福井の里地・里山」 [10/11（土）]

①里地里山をフィールドとして活動する団体のパネル展

- ・部 会 員：安居の里を守る会、日本野鳥の会福井県、福井ライオンズクラブ
- ・部会以外：NPO法人足羽川ふるさと元気の会、(株)竹中工務店、(株)福井新聞社、福井市自然史博物館、足羽三山の SATOYAMA を守る会

②工作教室（ネイチャークラフト）

- ・「日本野鳥の会福井県」及び「福井市環境パートナーシップ会議」の協力を得た。
- ・「足羽三山の SATOYAMA を守る会」が竹林整備の際に伐採した竹を活用した。



【企画展「守り伝えたい福井の里地・里山」】



【工作教室】

【エネルギー・資源部会】

再生可能エネルギーの普及などエネルギーの有効利用、地球温暖化の防止に向けたライフスタイルの転換により、低炭素まちづくりを推進すると同時に、環境産業の創出も含めた産学官の連携など、新たな取組に関する調査や検討を行う。

部会員（五十音順、敬称略）

氏名	所属
秋田 清	フクビ化学工業株式会社
岩佐 陽一	セーレン株式会社
上口 浩史	有限会社上口モーターズ商会
富坂 清二	北陸電力株式会社
南保 勝	公立大学法人福井県立大学
西田 好宏	学校法人金井学園福井工業大学
南 務	公益財団法人ふくい産業支援センター
谷 拓哉	日本システムバンク株式会社
皆川 陽一郎	株式会社サンワコン
宮川 敏夫	株式会社田中化学研究所
村中 美紀夫	村中建設株式会社
吉川 守秋	NPO法人エコプランふくい

1. 部会の開催状況

8/26日（火） 第1回部会	これまでの部会を振り返り、部会の目的と今後の方向性について協議。また、「サイクルシェア社会実験事業」の中間報告を行い、事業の問題点等について協議した。
1/26日（月） 第2回部会	来年度の事業の内容について協議した。また、社会実験が終了し、来年度から事業化する「サイクルシェア（ふくチャリ）」の更なる発展可能性や、現環境基本計画の最終年度となる次年度及びそれ以降の当部会のあり方について協議した。

2. 事業の実施状況

（1）福井市サイクルシェア社会実験

概要 電動アシスト自転車を使ったサイクルシェアシステムを整備し、来街者や市民の公共交通の利便性を高め、マイカーの利用抑制・環境負荷の低減を図る。また、本格導入に向け、このシステムが持続可能なものとなるよう社会実験を通して事業の方向性を検証する。

＜実施概要＞

実験期間：平成25年5月1日～平成27年3月31日

貸出拠点：11カ所

貸出時間：8時～21時 自転車数：電動アシスト自転車34台（各ポート2～6台）

貸出料金：4時間まで200円、1日500円、1泊2日1,500円

＜結果＞

利用回数：合計6,591回（稼働率：27.7%） CO₂排出削減量：約2,700kg-CO₂

*詳細は別添「社会実験結果報告書」のとおり

(2) えきまえ緑のBIGカーテン/ゴーヤグリーンカーテンプロジェクト

概要 ヘチマ等を用いたBIGカーテン及びゴーヤグリーンカーテンを設置することにより、夏場の緑の拠点作りと商店街の潤いや賑わいの創出を目指す。また、プロジェクトを通じて関連ネットワークを形成し、水利用産業についての発展可能性についても調査する。

<p>(BIGカーテン)</p>  <p>【新規事業】 緑化や水利用をテーマとして、大学・企業等を巻き込んだ取組を推進する。モデル事業として、まちなかにおける緑の拠点作りを目指して、福井工業大学や商業施設等との協働により、中心市街地において「緑のBIGカーテンプロジェクト」を実施する。当プロジェクトを通じて関連主体のネットワークを形成し、市街地の潤いや賑わいの創出を図るとともに、緑化・水利用に関する様々な研究を進めていく。 【協力】 福井工業大学、西武福井店</p>	<p>(ゴーヤグリーンカーテン)</p>  <p>【継続事業】 街に来られる買物客に涼を提供し、気持ちのよい歩行環境を整備するために、「ゴーヤグリーンカーテン」を電車通りの店舗を中心に設置する。また、地元商店街にも積極的な参加を募り、地域環境への取り組みを推進する。 【協力】 まちづくり福井株式会社 福井駅前五商店街連合活性化協議会</p>
--	---

【苗植イベント】平成26年5月30日（金）参加者：小鳩幼稚園（約70名）



(3) 福井市環境フェア「環境ビジネス展示会」 [10/11 (土)]

概要 新たな環境産業の創出が、福井市のより良い環境創造に寄与するとの考えのもと、環境ビジネスに取り組んでいる企業や団体、研究機関が製品や技術、サービスなどをPRし、出展者や企業・団体・来場者同士の交流を図る。



【環境ビジネス展示会】（出展数）30



【講演会】～環境・エネルギーと調和した農業活性化～
講師：HSK 東京コンサルティング 保坂武文氏